

採卵鶏に納豆粉末を給与することで、暑熱期の産卵率低下を抑制できる

納豆には整腸作用があることが知られており、豚では納豆給与により腸内細菌叢が安定し、医薬品を用いずに下痢の発生が減少し、生産性が向上することが報告されています。

このため、採卵鶏へ育成期から納豆給与を行った場合の飼養成績や腸内環境に及ぼす影響について調査しました。

[主な特徴及び内容]

市販の配合飼料に納豆粉末 3 % を添加し、暑熱期(7 月～9 月)の育成成績や産卵成績、腸内環境に及ぼす影響について調査しました。

[主な成果]

1 産卵成績および経営収支

成鶏期において、納豆粉末を給与することで、暑熱期の飼料摂取量低下が防止でき、産卵率の低下が抑制されました。経営収支を試算すると、納豆粉末を給与することで生産性が改善されました。

2 卵質

納豆粉末を長期間給与しても、卵質には影響しませんでした。

3 腸内細菌への影響

4 週齢で盲腸便中の乳酸菌数が増加し、6 週齢で大腸菌数が減少しました。しかし、鶏ふんからのアンモニアや硫化水素の発生量に差はありませんでした。

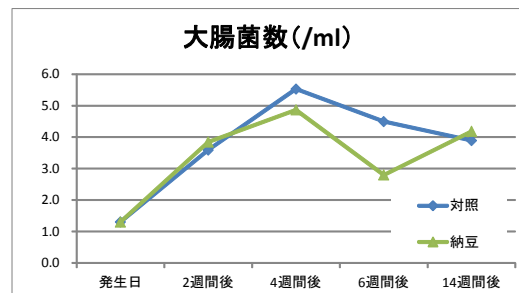
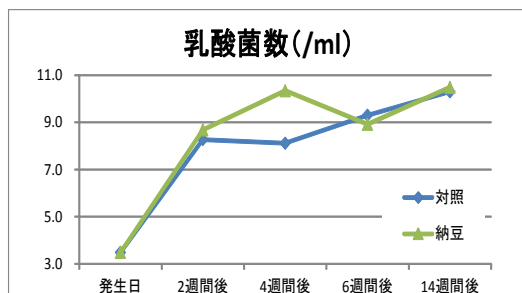


表1 産卵成績および経営収支

区分	納豆区	対照区
産卵率(%)	90.7 a	83.1 b
総産卵重量(kg)	77.7	69.7
総飼料消費量(kg)	134.7	128.3
納豆資材単価(円/kg)	320	—
給与飼料単価(円/kg)	58.1	50.0
卵売上(円)	17,485	15,683
飼料費(円)	7,826	6,415
粗収入(円)	9,659	9,266
対照区との差	393	—

( p < 0.05 )

\*注:卵価は各区共通 225 円/kg, 配合飼料単価は各区共通 50 円/kg

[期待される効果]

暑熱期の採卵鶏に納豆粉末を給与することで、産卵率の低下が抑制され生産性が改善できます。